

さかね町議会

Vol.106 2026.5.1

3月定例会号

発行 高知県佐川町議会

ハナサウ
マキノコウエン

令和8年度当初予算	3ページ
3月定例会補正予算	6ページ
議案質疑	7ページ
臨時議会（令和8年1月）	9ページ
3月定例会：一般質問に8人	11ページ
地域でがんばる「斗賀野ファイターズ」さん...	22ページ



**議会のようすを
家でも見ることができます！**

ライブ配信 録画配信



スマホでみる

1 インターネットで
佐川町議会と検索

佐川町議会



佐川町公式ホームページ
佐川町議会 | 佐川町役場



クリック！

2 議会映像配信へ

**このページまで
きたらもうすぐ！**

議会映像配信をクリック



見たい動画をえらんで再生する！

3 見たい動画を選ぶ

後日

録画配信は

※動画配信は各日程の約7日後から
ご視聴頂けるようになります。

会議名・議員名
テーマ別にさがす



議会開会中

ライブ配信



※動画の視聴は通信料が
高くなる場合があります。

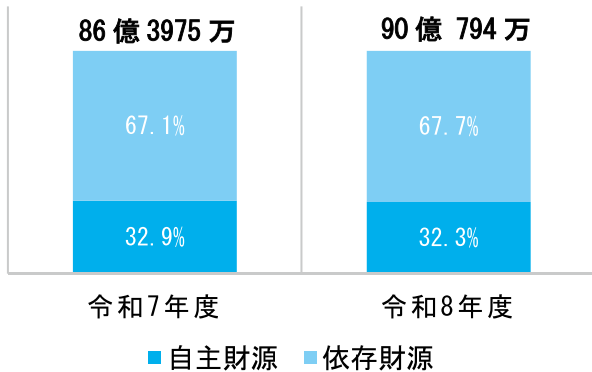
未来への投資と暮らしを支える

令和8年度当初予算 一般会計 90億794万9千円

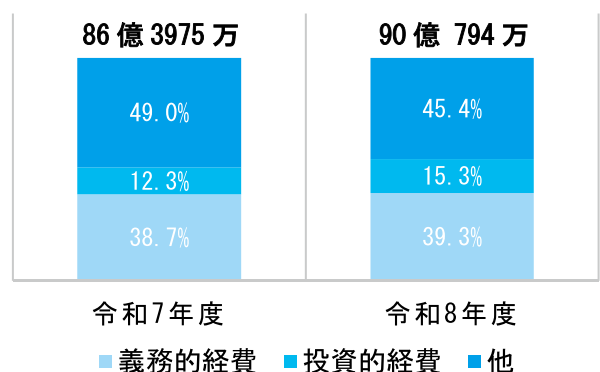
特別会計・公営企業会計含めた 総額144億3,252万8千円

令和8年度一般会計当初予算は、90億794万9千円で、前年度より3億6,819万1千円、4.3%増。特別会計や企業会計を含めた全会計純計は0.8%増の144億3,252万8千円。令和8年度は、道路や住宅、農業基盤などへの投資と、子育て・福祉・防災など暮らしに関わる施策へ予算が配分されている。

歳入の比較 R7→R8



歳出の比較 R7→R8



歳入では、町税が11億6,447万8千円で1.4%増となる一方、県支出金は10億6,141万4千円で12.5%増、町債は4億2,510万円で23.8%増となっている。

財源の内訳は、町税や使用料などの自主財源が32.3%、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が67.7%である。予算増額の背景には、県の補助や起債を活用した事業の増加がある。

歳出では、義務的経費が35億3,849万3千円(39.3%)、投資的経費が13億7,941万7千円(15.3%)、その他経費(45.4%)で、投資的経費は、前年度から30.3%増となっている。

これは、農業水路等長寿命化・防災減災事業、加茂地区町営住宅整備事業、道路改良など、将来に向けた基盤整備が進むことを示している。

自主財源＝町税や使用料など、町が自ら確保するお金
依存財源＝地方交付税や国・県支出金など、外部から入るお金
町債＝道路や住宅などを整備するための借入金

義務的経費＝人件費・公債費など必ずかかるお金
投資的経費＝道路・住宅など未来への投資
その他経費＝行政サービスを続けるためのお金

私たちの暮らしはどう変わる？

【教育】

学校教育改善重点推進事業などに1億341万2千円。学校教育の充実や学びの環境整備を進める。町立図書館さくとの管理運営費には5千490万3千円の予算が計上されている。

【健康・福祉】

あったかふれあいセンター1事業7千970万7千円、こども家庭センター事業1千886万6千円を計上。地域福祉の拠点づくりや、母子保健・児童福祉の充実を進める。

【安全・安心】

地方道路交付金事業2億4千250万円、木造住宅耐震化支援事業9千223万3千円、加茂地区町営住宅整備事業1億1千200万9千円を計上。道路の改良や修繕、住宅耐震化、住環境整備を進める。

将来の財政は？
町債と基金の見通し

令和8年度末の見込みでは、町債残高は72億4千144万7千円、基金残高は60億8千959万2千円。町は、交付税算入の高い町債を活用しながら、適正で健全な財政運営に努めるとしている。議会として、増えた予算が住民生活の向上につながるかを引き続き見ていく。

議会の視点

増額となった予算が、
① 暮らしの安心
② 地域の活力
③ 将来への備え
につながっているか、今後もチェックしていく。



令和 8 年度予算

この事業に議会が注目！

令和8年度の当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。



電子計算費

1億3,660万円

地方公共団体情報システムへの標準化（新総合システムへの移行）に向けた費用や、業務改善を進めるデジタル専門人材を受け入れる為の経費。

ふるさと寄附推進事業費

1億9,629万円

ふるさと寄附金の増加による、自主財源の確保と事業者の所得向上を目的とし、新たな返礼品の開発、PR促進を実施する。ふるさと納税返礼品や郵送料、手数料、事務委託料等を合算した費用。

地球温暖化対策補助金

1,845万円

地球温暖化対策の実効性ある実施に向け、省エネ環境対策に係る補助金等の創設・相談窓口の設置。

エアコン	電気冷蔵庫	テレビ
統一省エネラベル 省エネ性能	統一省エネラベル 省エネ性能	統一省エネラベル 省エネ性能
☆2以上	☆2以上	19v~38v ☆3.5以上 39v以上 ☆2以上

水稻栽培支援緊急対策事業

2,500万円

物価高騰対策として、前年度と同様に1反あたり約8千円で支援を実施する。

道の駅指定管理料

2,709万円

管理実績などを再算定し、算出した指定管理料を設定。昨年度より約600万円の増額。

木造住宅耐震化支援事業

9,223万円

予算額は減っているが、前年度分を繰り越して活用するため、事業規模は確保されている。

里山林整備事業補助金

180万円

自治会等からの申請に対し、里山林の整備や特殊伐採が必要な危険木の除去について事業費の1/2（上限30万円）を補助する。



**加茂地区町営
住宅整備事業**
1億1,200万円

長竹地区の地域振興や
防災を目的とした用地取
得費用。

**地方道路交付金
事業**
2億4,250万円

主要町道の改良事業、
道路メンテナンスとして橋
梁修繕、町道法面の安全
対策、加茂地区道路改良
等を実施。

**飲料水供給施
設整備補助**
3,910万円

西山組地区の施設整備
工事を行う。
老朽化施設等の維持修
繕費用。

**町立図書館さく
と管理運営費**
5,490万円

図書館さくとの運営に
要する経費。

**地域公共交通
事業費**
5,554万円

さかわぐるぐるバスの運
行、黒岩観光路線バス補
助金、地域公共交通会議
の運営等。

**あったかふれあい
センター事業費**
7,970万円

「集い」「訪問」「生活
支援」等の機能を有する
地域福祉の拠点。地元
NPO法人等に委託して
いる。

条例・他の議案

**さかわぐるぐるバス
の運行に関する条例
の一部改正**

路線名称の変更に伴い、
所要の改正を行うもの。

**旧黒岩中央保育所
の設置及び管理に関
する条例を廃止す
る条例改正**

今後施設利用の見通し
がないことから、当該施
設を廃止するもの。

**佐川町特定乳児等通
園支援事業の条例改
正
佐川町乳児等通園
支援事業の条例改正**

「集い」「訪問」「生活
支援」等の機能を有する
地域福祉の拠点。地元
NPO法人等に委託して
いる。

**佐川町子ども・子育て
支援法に関する条
例改正**
**高吾北広域町村事
務組合事務の変更**

子ども子育て支援法の
改正を行うもの。

高吾北広域町村事務組
合立特別養護老人ホーム
もみじ荘の事務の廃止に
ついて、構成団体として
地方自治法に基づく手続
きを行うもの。

可決された各施設の指定管理者

管理を委託する施設	管理を行う団体
池田団地集会所	池田団地自治会
富士見町公民館	富士見町自治会
三野公民館	三野自治会
旧伊藤蘭林塾	西町8区自治会
口481号客車展示施設	一般社団法人 さかわ観光協会
名教館	
佐川文庫庫舎	



増額補正の主なもの

基金積立金事業
4億4千893万円

主に施設等整備基金積立3億円。ふるさとづくり基金積立1億円。

職員人件費

1千898万円

人事交流職員（県職員）の人件費負担金。

基盤整備事業

2億100万円

農業水路等長寿命化・防災減災事業の増加。

減額補正の主なもの

電子計算費

△4千230万円

国が進める「地方公共団体情報システムの標準化・共通化」に伴い、自治体標準準拠システムへの移行を予定していたが、実施時期が次年度以降へ延期となったため、今年度の関連経費を減額するもの。

ふるさと寄附推進事業

△3千518万円

年度当初に掲げたふるさと納税の目標額（4億円）に対し、実際の寄附額が届かなかつたため、関連する経費（返礼品費用や手数料など）を予算から減額するもの。

(単位：円)

会計別	補正額	補正後の額	
一般会計	1億3,946万	96億2,913万	
特別会計	国民健康保険事業	△3,831万	16億3,280万
	学校給食事業	△137万	6,468万
	介護保険事業	△7,915万	18億2,168万
	後期高齢者医療事業	△1万	2億8,844万
農業集落排水事業会計	△143万	5,171万	
水道事業	△5,835万	3億9,904万	
病院事業	△5,000万	21億6,538万	

産業厚生常任委員会
活動報告

令和8年1月29日
佐川おもちゃ美術館
岡崎館長との意見交換

館内の視察後、開館2年半の現状と課題を共有し、意見交換を行った。

利用者の約95%が町外客で経営は黒字を維持している。



令和8年1月30日

まきのさんの道の駅佐川の視察と宮中駅長（3月末で退職）との意見交換

しかしながら、DIY工房の片隅で食事を摂るスタッフの労働環境改善や、玩具の消耗への対応、収納不足、館内トイレの不在などが、利用者やスタッフからあがっている。

営業面では、目標としていた客単価1千500円を達成し、買上げ点数も53点と計画通り好調に推移している。売れ筋はトマトやバウムクーヘン、パンのほか、酒類も前年比130%と大きく伸びている。懸念された職員の離職については、離職率約2割と県内平均より低く、退職理由は健康問題や他所への採用決定等の個別事情が主であり、組織的な

4月からの入館料改定に加え、今後は「あつたかふれあいセンター」等への出前活動や地元作家との連携を強化し、多世代交流の拠点としての機能向上が期待される。



住民の声を拾う意見箱設置にも前向きな姿勢を示しており、地域の拠点として生産者の所得向上という使命を果たすための連携が今後も重要とのことだった。

議案質疑



動画で観る

3月定例会 令和8年度 一般会計当初予算



齋藤議員 里山林整備補助金事業180万円の詳しい事業内容は何か。

また、道の駅指定管理料が前年度より約600万円増額した理由は。

下八川産業振興課長 里山林整備事業には2つのメニューがあり、隣接地に支障がある山林の伐採に対し、経費の2分の1（上限30万円）の助成と、人家や神社に被害を及ぼす恐れのある危険木処理に対し、経費の2分の1

（上限30万円）の助成。いずれも自治会からの申請を想定している。

道の駅の指定管理料については、令和6・7年度の管理実績に基づき公共事業部分の経費を再算定した結果、2千709万5千円が適切と判断した。人件費や物価高騰の影響を考慮した結果である。



西森議員 人口減少対策プロモーション事業の具体的な内容と効果は。

また、衛星画像が必要なかで航空写真撮影が必要な理由は何か。

図書館の「坂東眞砂子作品コーナー」の規模も問う。

安岡まちづくり推進課長 令和7年度には、若年層をターゲットにSNSで15秒の動画広告を発信した。想定を超える視聴回数があり、移住相談会

の相談者数増加にもつながった。令和8年度は20万円を計上し、移住定住に特化した発信も行う。

廣田住民課長 高度約3千メートルから全域を撮影し、土地評価や防災、道路管理等に活用する。衛星画像は雲や影の影響を受けやすく、写真の方が解像度が高いため、詳細な確認には不可欠だ。

岡田教育次長 文化団体からの寄附金30万円を活用する。資料が少ないため関係機関から借りるなど、まずは期間限定の特別展のような形で開催したい。



岡村議員 教育集会所改修工事の具体的な内訳は何か。

岡田教育次長 建設から年数が経過し、建付けが

悪くなった入口ドアの改修を行う。あわせて、周辺が暗くなる場所に照明設備を新設する。



中村議員 可動堰の突発的な事故に対処するため、目的基金を積み立ててはどうか。また、岡崎堰の改修における補助割合は。

下八川産業振興課長 緊急時は予備費や補正予算で対応しており、今後同様の対応をしたい。改修の負担割合は、国50%、県15%、町35%である。

横畠総務課長 現在の「施設等整備基金」で農業施設も対応可能である。今のところ新たな基金を作ることは考えていない。

国民健康保険 特別会計予算



西森議員 ジェネリック医薬品の使用促進効果は上がっているか。また、健康増進のため「かわせみ」に運動器具を設置できないか。

廣田住民課長 使用割合は令和7年3月時点で85%と、平成31年から10ポイント以上向上している。通知は切り替えのきっかけとして効果がある。運動器具については、国・県の交付金がソフト事業対象であるため、今回は予算措置していない。

による住民の負担額と今後の負担見通しはどうか。

廣田住民課長 所得割は0.26%、均等割は1千600円となる。18歳未満の免除分を補うため、均等割に100円を加算し、年額1千700円となる。令和8年度から10年度までは国の特別公債により激変緩和されるが、段階的に負担が増えていく見込みだ。

条例改正案他



佐川町空き家活用住宅の管理運営に関する条例の一部を改正する条例

齋藤議員 空き家活用住宅を4軒削る理由と、今後の移住者の住宅需要への対応は。

田村幸生議員 「子ども・子育て支援金制度」



安岡まちづくり推進課長
10年間の契約期間満了に
伴い所有者に返却するた
めだ。今後は新たな設置
はせず、空き家バンクの
登録を増やすことなどで
対応していく。

旧黒岩中央保育所の設置
及び管理に関する条例を
廃止する条例



安岡まちづくり推進課長
劣化や雨漏りがひどい状
態である。令和8年度予
算には計上していない
が、取り壊しも視野に検
討していく。

佐川町おもちや美術館の
設置及び管理に関する条
例の一部を改正する条例

齋藤議員 町外利用

者の料金を上げるが、現
在の町外利用者の割合は、

下八川産業振興課長 町
外の利用者の割合は、約
95%となっている。

第6次佐川町総合計画の策定

齋藤議員 住民アン
ケートで要望が多い「企
業誘致・雇用の確保」に
ついて、どのような将来
を描いているか。

安岡まちづくり推進課長
農林工業が安定した収
入を得られるよう支援し、
担い手不足に対応する。
企業誘致については県
と情報共有を行い、ふる
さと納税を活用した事業
も検討したい。

【用語解説】

総合計画とは

第6次総合計画は、令
和8年度より、10年間の
まちづくりの方向性を示
す最上位計画で、人口、
福祉、教育、産業、防災、
環境など各分野の目標や
施策が定められている。

斗賀野小学校の 6年生が 議会の傍聴に

3月9日、斗賀野小学
校6年生22名が、引率の
先生とともに佐川町議会
の傍聴に訪れました。

同校では、社会科の授
業の一環として、議会や
行政の役割を学ぶために
議会傍聴を行っています。
当日は、3月定例会4

日目の一般質問が行われ
ており、子どもたちが傍
聴席に入ると、議場全体
が和やかな雰囲気におま
れました。

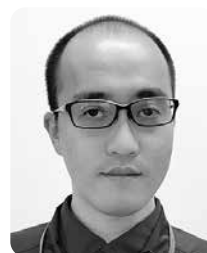
校長先生が随時説明を
行う場面もありましたが、
子どもたちは長時間にわ
たる質問にも集中して耳
を傾けていました。

未来の有権者である子
どもたちに、議場の様子
がどのように映ったので
しょうか。いつかこの中
から、町の未来をこの議
場で語り合う人が現れる
ことを期待しています。



議会事務局人事

書記 明神 幸汰



4月の人事異動で教
育委員会から議会事務
局に配属となりました
明神と申します。

議会という重要な機
関の事務局に配属とな
り、分らないことも
多く緊張するところ
ですが、1日でも早く仕
事に慣れ、議会の運営
を円滑に進めるととも
に、町のために尽力を
されております議員の
皆様を補助していける
よう、精一杯努めてま
いります。どうかよろ
しくお願い致します。

令和8年 第1回臨時議会



動画で観る

千円支給するもの。

選挙執行経費

1千115万7千円

令和8年2月執行の国政選挙に係る報酬や事務用品費、郵送料などの経費。

新婚生活応援事業

36万円

申請増に伴う予算不足分として2件分を追加計上する。

補正後の総額は歳入歳出94億8千96万8千円。

臨時議会 ピックアップ

物価高対応子育て

応援手当支給事業費

3千11万3千円

ゼロ歳から高校3年生までの子どもに1人あたり2万円を支給するもの。

物価高騰対応重点支援

地方創生臨時交付金

1億5千39万8千円

町民1人あたり1万2

議案質疑

公共施設入館料改定に伴う経費
青山文庫 65万1千円
地質館 20万5千円
入館料改定に伴う、チケットや案内パネルの変更費用を計上する。

工事請負契約の締結（加茂地区緊急用ヘリコプター離着陸場整備工事）
1億7千557万6千円

岡林議員 全員協議会では防音壁の設置を検討

討するとの話があったが、今回の設計図面には含まれていないようだが、どうなっているのか。

横島総務課長 当初の設計には計上していない。実際に運用を開始し、ヘリの離着陸時の状況を見て、必要であれば設置を検討する考えである。

下川議員 正式な契約上の工期はいつまでか。また、搬入される盛り土の量が当初予定より増えているようだが、その詳細は。

横島総務課長 工期は令和8年12月5日頃までの予定である。盛り土は全体で約7千400立方メートル必要で、そのうち7千立方メートルは県の河川の土を仮置き場から運ぶ予定である。トラックの通行等については業者と打ち合わせ、慎重に対応する。

西森議員 町民の命を救うための重要な施設である。巨大な擁壁を伴う難工事となるが、安全かつスピーディーに完成できるように、しっかりと管理してほしい。

横島総務課長 地震や災害などの有事に備えるための施設であり、早期完成に向け安全に取り組んでいく。

齋藤議員 道の駅に隣接しているが、混雑する土日や夏休みでも問題なく離着陸できるのか。また、入札金額と契約金額に差があるのはなぜか。

横島総務課長 離着陸については事前に現場を確認しており、土日でも特に問題はないと判断している。
金額の差については、提示された入札金額が税抜き、契約金額が税込みであるためである。

議員各位の意思表明

賛否表（令和8年第1回臨時議会） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	東 祐太郎	田村 雅之	安田 節子	齋藤 光	岡林 哲司	山本 和輝	田村 幸生	宮崎知恵子	西森 勝仁	下川 芳樹	松浦 隆起	中村 卓司	岡村 統正
専決処分の承認を求めることについて (令和7年度佐川町一般会計補正予算(第5号))	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	ー	○	○
専決処分の承認を求めることについて (令和7年度佐川町一般会計補正予算(第6号))	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町一般会計補正予算(第7号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	ー	○	○

議員各位の意思表明

賛否表（令和8年3月定例会） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	東 祐 太 朗	田 村 雅 之	安 田 節 子	齋 藤 光	岡 林 哲 司	山 本 和 輝	田 村 幸 生	宮 崎 知 恵 子	西 森 勝 仁	下 川 芳 樹	松 浦 隆 起	中 村 卓 司	岡 村 統 正
令和7年度佐川町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町学校給食特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町農業集落排水事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和7年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
令和8年度佐川町病院事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川町空き家活用住宅の管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
さかわぐるぐるバスの運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
旧黒岩中央保育所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川おもちゃ美術館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川町子ども・子育て支援法第82条の規定による過料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
第6次佐川町総合計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
池田団地集会所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
富士見町公民館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
三野公民館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
旧伊藤蘭林塾の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
口481号客車展示施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
名教館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
佐川文庫庫舎の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
高吾北広域町村事務組合の共同処理する事務の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○
「憲法前文 平和を愛する諸国民に該当しない国に対して憲法解釈を変更し、憲法九条の適用除外を求める」ことについての意見書	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	ー	●	●



西森勝仁 議員



- 1、予算編成方針について
- 2、南海地震対策について
- 3、観光客誘致と暖房便座の整備について
- 4、農業振興について
- 5、ドッグランの整備について

問 2月8日に執行された衆議院選挙で、自民党の大勝となり、これから責任ある積極財政の執行と云いつつ、国家予算は過去最高となり122兆円を超え、県も国の交付金が3倍になったことで、大型予算を組んでいる。

佐川町も90億円を超える予算となっているが、今、日本は借金大国で、国民一人当たり1千100万円近い借金があり、まだまだ増えそうと思うが、こうした中において、

問 大型予算の規模は適正か

答 適正で安定した予算

佐川町の標準財政規模はいくらか。また、予算規模は適正で将来の財政運営は大丈夫か。

田村副町長

標準財政規模は約45億円程度であるが、予算編成にあたり、現在の行政サービスを低下させないよう、歳入に見合った事務事業としている。

片岡町長

国の積極財政の中であっても事業の取捨選択を図り、適切かつ適正で安定した行財政運営に努めていく。



健全な運営が望まれる

問 どうなっている人口減少対策

答 今できることにしっかり取り組む

30年間で、日本の約4割の自治体が消滅する可能性があるとのことだが、聞くところによると佐川町もこの全国744自治体の1つに入っているとのこと。どのような対策を取っているのか。

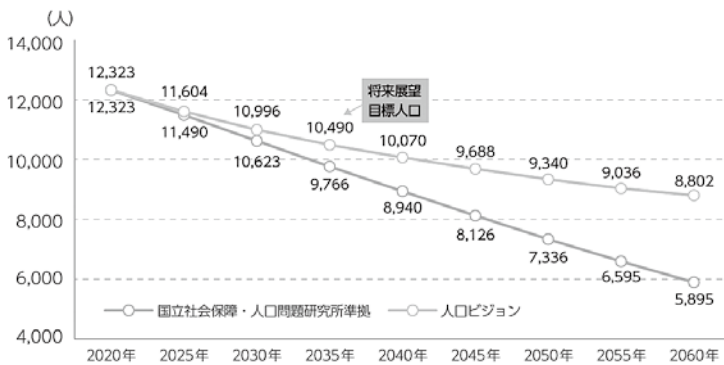
安岡まちづくり推進課長

人口減少対策に関わる庁内4部署において、およそ18事業、令和8年度

も予算額にして約3億円を計上している。具体的には、出会いから結婚・妊娠・出産・子育て支援などについて、切れ目のない支援や移住者の受け入れ対策も行っている。また、給食費の無償化や奨学金返還支援・新規就農支援補助金・起業家補助金・中古住宅購入支援など、今できることに取り組んでいく。

問 佐川町もずっと人口減少が続いており、以前の第5次総合計画で想定した減少率よりもはるかに早いスピードで減少している。

これは、国立社会保障・人口問題研究所が予測した推計にほぼ近い結果となっている。このまま予測どおり減少していけば、あと25年もすれば佐川町の人口は7千人台となり、さらに10年後には5千人台になるという予測がある。そして、人口戦略会議が公表した2020年が



第6次佐川町総合計画 (2026-2035)
2035年の目標 10,490人



下川 芳樹 議員



- 1、加茂地区産廃施設
の安全対策について
- 2、産廃施設建設に伴
う地域振興策の今後
について
- 3、こども家庭セン
ターの業務内容につ
いて
- 4、令和8年度におけ
る佐川町の人口減少
対策について

問 本年の産廃地元説明会 開催の理由と内容は

答 令和5年と同じ原因で 対策工事を実施

なげる事を目的に開催し
た。

対策工事については、
令和5年に発生したス
レーキング現象と同じ原
因で、「脆弱部の移動を
抑止するため、埋立地内
に抑え盛土を設置」、「被
覆施設の基礎に影響する
脆弱部を掘削して改良土
に置き換える」、「地下水
及び湧水を外部排水する
ために、地下排水溝を設
置する」など、安全性の
高い対策を実施すると聞
いている。

窓口については説明会
で同じ質問があることか
ら、これまでの資料や質
問と回答をまとめて対応
できるように、エコサイ

クル高知とも相談して体
制をとっていききたい。

片岡町長

新たな管理型産業廃棄
物の最終処分場の整備に
ついては、高知県全体に
関わる非常に重要な事業
である。県として丁寧な
事業実施を心がけている
と理解している。佐川町
としては、県、エコサイ
クル高知と緊密に連携
し、環境保全対策や、安
全対策に対し協議を実施
していると考えている。
施設が立地する自治体と
して、特に加茂地区の住
民の安全・安心の確保の
ため、引き続きしっかり
住民の声を届けていく。

問 こども家庭センターの 設置の経緯と業務内容と

答 法改正により母子保健と 児童福祉を一体的に

問 令和8年4月より設
置されるこども家庭セン
ターの業務内容と、設置
に至った経緯について問
う。

岡崎健康福祉課長

健康福祉課に設置する

「こども家庭センター」
は、すべての妊産婦・子
育て世帯・こどもに対し
て、母子保健および児童
福祉の両面から一体的に
相談支援を行う機関。



本質的な支援の質の向上を
期待したい

令和4年6月に成立し
た児童福祉法等の一部を
改正する法律に基づく対
応として、同課内の子育
て世代包括支援センター
と子ども家庭総合支援拠
点を廃止し、設立の意義
や機能を維持した上で、
母子保健・児童福祉の連
携を強化するため新たに
設置するもの。

廣田住民課長

加茂地区住民説明会
は、施設の整備計画や整
備状況、安全対策などに
ついて住民と情報を共有
し、施設の安全性への理
解を深めて不安解消につ

なげる事を目的に開催し
た。

Vol.43
～新たな管理型産業廃棄物最終処分場の整備について～
令和8年2月

県・エコサイクル高知からのお知らせ

工事区域の現在の状況

1 施設本体工事

埋立地内では掘削作業がおおむね完了しています。産業斜面については、全10段で掘削及び改良土の置換が完了し、小段や斜面中央部の排水路を施工しています。また、施設本体からの進入路についても確認に整備が進んでいます。

住民の不安解消するための体制づくりを



安田節子議員



- 1、ICT教育の見直しを
- ・プラス面とマイナ
ス面について
- ・書く活動の重視を
- 2、学校給食のお米を
佐川町産で
- 3、健康づくりのため、
スポーツジムの実現
を求める
- 4、虚空蔵山の整備を
求める

問 ICT教育の見直しが 必要ではないか

答 自分で考える子どもの育成を
目指して進めていく

問 文科省が進めるGIGAスクール構想により一人一台端末(タブレット)が全国的に整備された。これからの子どもたちには、情報社会を生き延びていくために情報機器を使いこなせる力は必要である。

しかし、最近の研究では、電子機器の画面を見続けることで脳の成長が遅れることが報告されている。低学年でしっかりと読み書きをし、言葉の力を獲得することが大事

であると考えます。
タブレットを使う時期や量など一度立ち止まり、検証する必要があるのではないかと。



集中して学んでいるよ

濱田教育長 本町では、国の構想以前より学力向上に向けてデジタル機器導入を進めており、その流れの中でGIGAスクール構想がはじまり、一人一台タブレットが実現している。子どもの習熟度に合った学習が促進されること、リアルタイムで意見交流ができ、コミュニケーションツールとして有効であ

ること、情報の検索、整理発信の能力向上やICT活用の能力向上が期待できることなどプラス面が多くあり、効果が期待できる。

マイナス面については、電子機器の長時間視聴により視力や脳の機能に障害が出るということが研究者の間で言われている。教育用タブレットについては、教員の管理下であり、影響は少ないと考えられる。スマホやゲーム機使用の時間のコントロールなどについては家庭とも連携し取り組んでいるところである。人工知能の進歩により、活用が誤った方向に進み、思考力が低下することも心配される。

自分の頭でしっかりと考えることができる子どもの育成のため、「さく」とも連携し、書くこと、その前提となる読書教育を授業改善の柱として進めていく。

問 学校給食のお米は佐川町産に

答 条件が整えば、実現できる

問 学校訪問の際に給食をいただく機会があり、成長期の児童の発達を考えたおいしい給食内容に感心した。地産地消を心掛けていると聞けが、高知県産佐川町産のものはどのくらい使われているのか。またお米については町内産でないか聞けが、佐川町産にすれば、町内農家にとっても食育にとっても良いと思うが、実現できないか。



佐川町産の食材をふんだんに

岡田教育次長 当町の学校給食は、旬の食材で季節感を感じてもらうことや高知県産、佐川町産の食材をできるだけ使うことで食育につなげている。気候や時期などにもよるが、月平均で県産54%、うち23%が佐川町産の食材である。野菜の生育状況などを確認しながら献立を考えている。

お米は、佐川町産だけでは賄うことができないため、佐川町産を含む高知県産をJA高知県と契約をして購入している。現在購入しているお米と同レベルの品質で、一定量の確保ができ、納品可能なものがあれば、町としては佐川町産の米を使用したいという考えである。



田村幸生 議員



- 1、事前復興まちづくり計画の策定について
- 2、防災士養成の経過
- 3、防災士の組織化・フォロアップについて
- 4、住まいの復興について
- 5、農作業ヘルパー制度のしくみづくりについて

問 事前復興まちづくり計画の策定

答 実効性ある計画策定に取り組む

片岡町長

再建像の核は「災害を特別な出来事とせず、日常の営みの延長線上で町を再生させる」ことに尽きると考える。

何が起きても「この町で暮らし続けたい」と確信できる、揺るぎない日常が守られる町であるため、事前復興計画の策定は、災害から、町民の命と暮らしを守り抜く重要な役割を担うもの。

扱う領域は、「住まいの再建」や「生業の再生」、命をつなぐ「インフラ機能の維持」など、あらゆる分野に及ぶ。

部局の垣根を越えて連携するよう指示を出すとともに、関係機関と足並みをそろえて、実効性のある計画策定に向けて取り組んでいく。

問 南海トラフ地震発生後のまちの再建像についての基本認識。
持続可能な町であり続けるために、今できる準備を進めようとする事前復興まちづくり計画に取り組む考えを問う。

横島総務課長

現在、高知県中山間地域事前復興まちづくり計画策定指針の策定が進められており、今後、内容を精査し、県と連携を図り検討していく。



この日常を大切にしたい！

問 農作業ヘルパーの仕組みづくり

答 マッチングアプリの有効活用を

ると、対象品目が多岐にわたり、農家数が3倍で経営規模が大きいことから現実的ではない。

農業者とヘルパーのマッチングは、農業求人サイト「あぐりマッチこうち」や「DAYWORK（デイワーク）」などのマッチングアプリを有効に活用するなど、関係機関が一体となって模索していくことが必要。

問 個々の農家では、臨時の雇用確保に苦勞し栽培面積の維持・拡大に影響している。
「収穫の時期だけ」、「干前中の収穫時間だけヘルパーを」などの声を聞くが、越知町にあるような農作業ヘルパーの仕組みづくりの考えを問う。

下八川産業振興課長

越知町にある仕組みは、雇用調整の難しい品目では有効な制度。
佐川町は越知町と比べ



人手不足解消の仕組みづくりを



中村卓司 議員



- 1、少子化対策の一丁目一番地は土地基盤整備ではないか
- 2、黒岩の河川改修早期実現する為に
- 3、道の駅の今後について
- 4、佐川町内の文化遺産の管理について
- 5、町長の考える来年度の二丁目一番地とは何か

問 少子化対策に一丁目一番地は土地基盤整備ではないか

答 基盤整備は黒岩地区で検討中

問 町長は本年度の予算の一丁目一番地は少子化対策が予算の基本的な考え方であると答えた。佐川町において土地基盤整備は現在30%である。今後少子化対策のためには、農業後継者を育て若し農業者を増やす事が必要である。若者が安心して農業に取り組む為に農業基盤整備が必要だ。早期に進めてほしいと考えるが現状はどうか。進めて行くには事業の中心

となる組織が必要と考える。そこで役場の中に土地基盤整備課を作ってはどうか。

下八川産業振興課長

基盤整備については、耕作条件の不利な土地の多い佐川町では、非常に有効な事業であると承知しており、現在は市ノ瀬、立野、馬ノ原で事業を実施しており、その他のところでも具体的な事業計画がないのが現状である。

具体的な計画までは至っていないが、黒岩地区の柳瀬川下流域において検討を重ねていく。

片岡町長

基盤整備課の設置については役場全体の人的なことも考慮し、人手も足りないことから、現在のところ設置には考えてない。

現在の産業振興課内で基盤整備についておこなっていく。

問 黒岩の河川改修早期実現する為に

答 越知、佐川町で要望して協議をしていく



基盤整備対象地

問 黒岩地区の河川改修工事は50年前の5号台風による国の激甚災害の指定を受けた柳瀬川改修工事のいわば国の凍結事業だが、地域事情により一時凍結となったが、今後この事業を完成する為に今の予算では100年かかると予想される。

今後短期に河川改修を実施するためには、いかに予算を獲得するかにかかっている。町長は予算獲得のため最善の努力をしなければならぬと考えるがどう考えるのか。

片岡町長

この事業については、国・県・県議会に対し仁淀川流域の県内7市町村で組織している仁淀川改修期成同盟会で要望活動を行っている。

佐川町においても柳瀬川下流の美しい風景と住民生活を守るため柳瀬川河川改修事業の財源の確保と事業のスピードアップを最重要項目に挙げている。越知・佐川町と一緒に議員さんも含め要望して行く事が大切だと思っており、越知町とも協議をしていく。



未改修のままの柳瀬川



宮崎知恵子 議員



- 1、商品券配布について
- 2、ブラジル、アサイ市との関係構築について
- 3、道の駅への太陽光パネル設置について
- 4、本町における平和教育の位置づけと安全保障教育の扱いについて

問 太陽光パネル設置について

答 現時点ですぐにということはない

問 現在の政府は、再生可能エネルギー推進の象徴であるメガソーラー規制に向けて具体的な検討を始めており、2027年度以降の電気料金に上乘せられている『再エネ賦課金』を原資としたメガソーラー支援を廃止する方針だ。またメガソーラーは反射光の問題、生態系や安全性、環境破壊に影響しかねない問題もあり、国の支援が廃止に向かっているのであれば、財政の圧迫の元にもなるので続行すべきではないかと考える。



議論の進む太陽光発電

また佐川町はゼロカーボンシティ宣言もしているが、CO₂が温暖化の原因とされてきたことも、今や疑問視されている。逆にCO₂増加によって地球の緑化が進み、人口増に伴う食料問題の解決にもつながる。道の駅隣のメガソーラーは今後も検討される可能性はあるのか伺う。

下八川産業振興課長
道の駅の光熱水費、特に電気代を軽減できないか、また町としてゼロカーボンシティの実現に向け導入できないかと検討したが、様々な視点から判断した結果、実施に至っていない。

問 平和をいかに維持し守っていくか

答 記載されている依頼要請に沿う対応をする

問 国際情勢の不安定が進む中で、平和教育と安全保障教育の扱いについて日本の現状を認識し、どう教育していくか。
今の日本国憲法は80年前の敗戦直後に制定されたもので、その時の環境とは今は全く変わっている。平和はどのような状況下で維持されてきたのか。その構成要素や安全保障での抑止の視点も、教育の中で取り扱っていく必要があるのではないかと。高市政権の動きを見

ても、今後憲法九条だけで平和が守れると断言できない状況だ。自分の国は自分で守るという認識と、大局を養う必要があると思うが、防衛省が作成した子供向け防衛白書について、どのような指導をするのか伺う。

濱田教育長

子ども向けの「日本の防衛」はじめての防衛白書2024については、送付を受けてはいない。平和に関する教育は学習指導要領に基づき、日本国憲法の平和主義の理解を深め、国の安全と防衛及び国際貢献について考え、戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と態度を育てることなどについて指導している。



出典：防衛省



田村雅之 議員



- 1、佐川町指定文化財について
- 2、佐川高等学校魅力化について
- 3、町道、農道、水路について
- 4、ぐるぐるバスについて
- 5、ファイティングドックスについて

問 ぐるぐるバス運行 路線要望について

答 重要な課題として認識している

問 現路線では利用できない住民がいるが、今後さらに高齢化が予想される。病院や買い物等外出は当然健康や生きがいにかかわる問題だが町はどう考えるか伺う。



さらなるサービスが期待される

安岡まちづくり推進課長
日常生活に必要な移動に不安を抱える方がいることは住民の方への聞き取り調査等でも声があり、町でも重要な課題として認識している。

今後高齢化の進行に伴いこうした移動制約を抱える住民が増加する可能性があることも踏まえ、早期に対応の方向性を整理する必要があると考えられる。利用実態や住民の意見を把握しながら新たな移動サービスの導入に向けて対応したいと考えている。

問 ファイティングドックス への支援について

答 広報への掲載等活用で
できることから実施したい

問 昨年、公式ではないがファイティングドックスが寮、練習場を高知市へ移すという話があったと聞いている。佐川町はホームタウン協定も結んでおり、町に必要不可欠な球団と思つが、球団の経営状況も厳しいなか町の支援を伺う。町として物心両面の応援をもつうできないものか。



支援が求められている

安岡まちづくり推進課長
令和8年度予算として寮建物の管理等に247万5千円、広告費として110万円を計上している。またイベント等には職員等が参加している。応援は試合日の告知ポスターは掲示しているが、今後、広報への掲載等、できることから実施したい。

岡林哲司 議員



- 1、防災力の強化と実効性の向上について
- 2、佐川高等学校地域コンソーシアムについて
- 3、全国児童画コンクール の賞金の活用について
- 4、道の駅・おもちゃ美術館の次のステージに向けた改善について
- 5、「いのちを守る安全な道」の整備について

問 生活用水確保へ 機材配備の支援を

答 県補助金を活用し 配備を後押しする

など活用できそうな水源を自主防災組織単位で把握し、使える状態にしておくことが第一歩である。各組織が「投げ込み式中ポンプ」と「発電機」を配備できるよう町が支援すべきだが、県の補助金活用を後押しする認識で間違いないか伺う。

横島総務課長

高知県地域防災対策総合補助金において、本年度から、自主防災組織が生活用水として活用が見込める井戸等に対するポンプの整備経費が補助対象となった。各組織の皆様には是非この制度を活用いただきたいと考えており、周知を徹底して活用を後押ししていく。



共助での生活用水の確保を！

問 能登半島地震では断水が長期化し、飲料水とは別にトイレや洗濯のための生活用水が避難生活の質と健康を大きく左右した。南海トラフ地震でも高知県の想定で発災1週間後の断水率は93%、1カ月時点でも50%を超えること示されており、1人1日20〜30リットル必要とされる生活用水の確保戦略は不可欠だ。

災害時には自助・共助・公助の連携が大事であり、地域に点在する井戸や池

問 道の駅の運営・整備の方針は

答 憩いの場・交流の場・商品充実へ

定した「常設の盛り土ステージ」と電源を確保することは、イベント開催のハードルを下げ交流人口の拡大につながると考える。費用の概算や辺地活用の試算を含め、町の考えを伺う。

下八川産業振興課長

光熱費については、令和8年度に、ロールカーテンで対応できなかった

ガラスの部分へ遮熱フィルムを設置する予定である。

ステージ設置については、盛り土とコンクリートによって設置した場合の費用を約1千万円程度と試算している。辺地債の活用は可能なものだと考えているが、まずはあるものをどう活用できるか一緒に考えていただきたい。

問 道の駅の光熱費は年間約1千200万円にのぼり、ガラス面の多さによる熱影響が抜本的な課題だ。直射日光は農産物の品質低下にもつながるため対策を要する。

またイベント環境については、先の「うちち祭り」でトラックステージの揺れにより出演者が体調を崩す事例があり、安定性の確保が求められる。町の組み立て式ステージは設置に多くの人手を要し現場負担も大きい。メンテナンスコストが安く安



※質問のイメージです。

こんなステージ作りませんか？と提案！

高吾北広域町村 事務組合議会

2月27日、高吾北広域町村事務組合議会第1回定例会が開催されました。提出されました議案は、高吾北広域町村事務組合議会一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を含む条例案5件、令和7年度一般会計補正予算案などを含む補正予算案4件、令和8年度高吾北広域町村事務組合一般会計予算案を含む当初予算案5件で、いずれの議案も原案のとおり可決されました。



広域議会議場のある高吾北広域事務組合事務局（越知町）

組合長の諸般報告のおもだったものでは、1月末の清掃センターの回収件数などの報告があり、1月末ごみ処理量5千907トンで対前年266トン減。消防緊急出動数、火災出動総数などを含む件数は減少傾向であるとのことでした。救急出動が1千594件で前年より2件の減少で、搬送人員のうち65歳以上の高齢者の搬送は全体の約8割と依然高い水準であり、管内の医療機関と連携を図っているものの、高知市内の管外医療機関への搬送が約6割となっている。ヘリコプターの出動状況ドクターヘリ33件、防災ヘリ7件、前年より3件減少。

日高村佐川町 学校組合議会

3月17日、日高村佐川町学校組合議会が開催されました。提出されました議案は、日高村佐川町学校組合組合長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例案を含む条例案3件、7年度一般会計補正予算1件、令和8年度当初予算案1件、いずれの議案の満場一致で可決されました。組合長副組合長任期満了による選任案件では、組合長に日高村松岡村長・副組合長に佐川町片岡町長がそれぞれ選任されました。日高村佐川町学校組合議長には佐川町松浦議長・副議長の選任については日高村議会議長池田議長がそれぞれ選任されました。任期はいずれも2年間。

～住民の信頼に応えられる議会へ～ 議会懇談会を開催します



まちのこと、暮らしのことを、議員と気軽に話せる懇談会です。事前の申し込みは不要です。どうぞ普段着でお越しください。

佐川町議会では、『議会懇談会』を、地区ごとに開催します。テーマに沿ってご意見をお聴きし、住みよい町づくりに活かして参ります。最寄りの会場へ、住民のみなさまのご参加をお待ちしております。

※ 懇談会は1時間半程度を予定しています。

月日	地区名	場所	時間
5月7日(木)	加茂	集落活動センター加茂の里	午後7時から
5月8日(金)	尾川	集落活動センターたいこ岩	
5月12日(火)	黒岩	集落活動センターくろいわ	
5月13日(水)	斗賀野	集落活動センターあおぞら	
5月15日(金)	佐川	健康福祉センターかわせみ	

テーマ

- ① 地域の課題について
- ② 地域を盛り上げる為のアイデア

あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ



**問 危険木の伐採補助や
里山整備補助の導入を**

大きくなり過ぎた危険木が住宅周辺や道路などに隣接している場合の伐採する補助金導入を。
(齋藤議員・宮崎議員・西森議員)

**答 森林環境譲与税などを活用した事業などの
導入を検討**

どうなった

令和8年度に「佐川町里山林整備事業補助金（仮称）」が新設される。

住宅地や公共施設に被害を及ぼす恐れがある「手入れされていない里山」を整備（伐採など）し、倒木や崩落などの災害を未然に防ぐための支援制度。

※宅地や公園などから生えている木は対象外

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は 6月5日(金)午前9時開会予定です。
傍聴においでください。また町内4カ所の集落活動センター・夢まちランドで、視聴できます。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員	齊藤 光
副委員長	東 祐太郎
委員	岡林 哲司
委員	安田 節子
委員	田村 雅之

新しい編集委員でお届けする議会広報も、今号で3号目となりました。

少しずつ新体制にも慣れ、より濃く、より伝わる紙面を目指す気持が高まっています。

これからは特集記事にも取り組み、議会と住民の皆さまをつなぐ広報として、さらに内容を充実させていきたいと思えます。

ぜひ率直なご意見や「こんなことを知りたい」という声をお寄せください。

岡林 哲司

編集後記

「町民の声」

議会広報編集委員会では、議会懇談会に先立ち、住民の皆さんに日頃感じていることや、議会に期待することを伺いました。今回は、その声の一部を紹介します。

佐川町の好きなところ・残したいところは？

- ・「自然や文化、建物を一体で残してほしいです」(30代・男性)
- ・「中心部がコンパクトで、買い物や通院に便利です」(30代・女性)
- ・「上町周辺や田んぼ道、山に囲まれた風景が好きです」(40代・女性)
- ・「牧野富太郎の功績を大切に残してほしいです」(60代・女性)
- ・「桜がとても素敵で、川沿いの景色も好きです」(70代・女性)

今の暮らしの困りごと・気になることは？

- ・「スマホ、ネットの電波が弱い」(20代・男性)
- ・「町内放送が聞こえにくく、災害時が不安です」(30代・男性)
- ・「通院などに使えるタクシーの時間を広げてほしいです」(30代・女性)
- ・「飲み会の後、帰る手段がなくて困ります」(40代・男性)
- ・「車道と歩道が分かれていない場所があり、子どもの移動が心配です」(40代・女性)
- ・「空き家や田んぼを受け継ぐ人がいないことが気になります」(60代・女性)
- ・「近くで子どもの声が聞こえなくなりました」(70代・女性)
- ・「無投票の選挙に危機感を感じます」(80代・女性)

Q. 議会にもっと取り上げてほしいテーマは何ですか？

教育や子育て、佐川高校の存続、防災、自治会の将来、議会施設のバリアフリー化など

Q. 議会だよりで読んでみたい内容は何か？

少子化や空き家、担い手不足、インフラ整備、町おこし、一般質問の内容、議員の活動、町・県・国の方針のつながり、「特になし」など

Q. これからの町に期待することは何か？

若者が住み続けられる町、住民サービスの充実、移住しやすい雰囲気づくり、温泉施設や飲食店などのにぎわいづくり、議員活動の見える化など

Q. 佐川町は住みやすい町だと思いますか？

「住みやすい」「良い町だと思う」

「町外の人に向けて住むメリットをもっと伝えられるとよい」など

佐川町を「住みやすい」「良い町」と受け止める声が多く見られました。特に、桜や自然景観、歴史文化、人のあたたかさ、暮らしやすさは、町の魅力として強く認識されています。

一方で、子どもや若者の減少、空き家や担い手不足、移動や買い物、通院など日常生活の不安も挙げられました。また、佐川高校、防災、町の見どころ、議会や議員の取組などについて「もっと発信してほしい」という声も複数ありました。町の良さを守りながら、暮らしの課題への対応と情報発信の強化が求められていることが感じられました。

議会懇談会にぜひお越しください

5月には議会懇談会を開催します。議会懇談会は、こうした思いや困りごと、期待を議員に直接伝えていただける場です。「ちょっと気になっていることがある」「議会に聞いてみたいことがある」など大歓迎です。どうぞ気軽にお越しください。

※ 詳しくは19ページをご覧ください。→



佐川町内唯一のドッジボールチーム「斗賀野ファイターズ」にお邪魔し、監督の藤本浩一さんにお話を伺いました。



「斗賀野ファイターズ」は、いつ頃から活動されているのでしょうか？

斗賀野ファイターズの活動が始まったのは、今から約30年に遡ります。当時の保護者が「ドッジボールクラブが出来ませんか？」と学校の先生に声をかけたことがきっかけでした。当初は2名

ドッジボールチーム 斗賀野ファイターズ

の先生を中心に、学校のクラブのような形で指導がスタートし、現在はその熱意を地域の保護者やOBたちが引き継いでいます。

現在のチームの人数は何人ですか？

現在のメンバー構成は、6年生4人、5年生2人、4年生8人、3年生1人の計15名で活動しています。

直近の3月には6名の卒業生を送り出しました。所属小学校は当初の斗賀野小学校に留まらず、現在は佐川小学校や加茂小学校、須崎の小学校などからもメンバーが集まっており、広い範囲で交流が生まれています。

練習はいつ行っていますか？

毎週火曜日、木曜日午後5時45分～7時30分、日曜日午前9～12時に斗

賀野小学校体育館で行っています。大会前や日曜日に練習ができない場合は、土曜日の夕方に練習を行うこともあります。

指導方針があれば教えてください。

私たちは、ドッジボールを通して子どもたちの健やかな心と体を育むことを大切にしています。勝ち負けだけにとらわ



れるのではなく、試合や練習の中で仲間と関わりながら、自分の成長を実感できる環境づくりを心がけています。あいさつや礼儀、思いやりの気持ちなど、人として大切な力も自然と身につくよう指導しています。

また、ドッジボールで培われる基礎体力や俊敏性は、将来ほかのスポーツに取り組む際にも大きな力となります。

若いコーチもおられるみたいですね？



はい。ドッジボールの魅力は小学生で終わりでありません。ドッジボールには中学生・高校生・一般のカテゴリーもあり、私やコーチ達も一般の部でプレーしています。

かつての卒業生が一般チームで監督とともに活動したり、コーチとして後輩たちの指導を手伝いに来てくれたりと、世代を越えた温かいつながりが続いています。



【メンバー募集中!】

斗賀野ファイターズでは、一緒に活動する仲間を募集しています!

普段の練習時に随時体験会を開催することもあります。普段の練習風景や体験会の告知は、チームの公式インスタグラムで発信しています。

「どんな練習をしているのかな？」と気になった方は、ぜひ一度インスタグラムを覗いてみてください。皆様のご参加を、メンバー一同お待ちしております!



toganofighters-mail@yahoo.co.jp

メールアドレス



@TOGANO_FIGHTERS

公式 Instagram

あなたの周りで、佐川町の元気のためにがんばっている【組織やグループ】をぜひ紹介下さい。